



2024

学校だより **本荘** *Smile*

令和6年度 第36号
令和6年11月18日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

「全校だるまさんが転んだ」2学期アラカルト①



9月の学校生活の1コマです。全校児童で「だるまさんが転んだ」をやっています。楽しいイベントで子どもたちも大喜びだったのですが、ただ単にレクリエーションイベントでやったではありません。健康づくりの一環として、委員会の子どもたちが企画して実施したものです。

私は常々、子どもたちの自主的活動を推奨しています。子どもたちが自分たちで企画をして、実施まで責任をもって行うという活動が、絶対に将来、役立つからです。高校の時の文化祭ってそんなイメージですよ。最近若くして起業をする人たちも多いといいますが、キャリア教育的に見ても子どもたちの発想を活かしたイベントは重要だと思うのです。

健康委員会では、この他にも「かけっこ大会」「ロケット投げ大会」「腕すもう大会」など楽しいイベント企画してくれました。それぞれに「走力」「投てき力」「腕力」などの体力づくりにつながる楽しいイベントです。裏面「虫眼鏡」にその様子を載せておりますので、ご覧ください。

最近、本荘小は、小規模特認校としてニュースでも取り上げられました。このような全校が一体となった取り組みができるのも小規模校のよさなのだと思います。(裏面に続きます)

本校では、このような体力づくりの他にも、「縦割り班活動」、「わくわく集会」等、小規模校としての「よさ」をいかした取組みを活性化させているところです。さらに、その内容は、教師側からのトップダウンでなく、こどもたちが「やりたいこと」、「考えたいこと」を大切にしていって、ボトムアップであるべきなのだと考えます。

こどもたちは、楽しみながら体を動かす活動を行いました。よい体力づくりになったと思います。これからも伝統的に続けていってほしい自治的活動でした。（校長）

校長先生の虫眼鏡 「こどもたちの体力づくり」

本文でも書きましたが、こどもたちの自治的体力づくり活動の例です。それぞれ、「ロケット投げ大会」、「かけっこ大会」、「腕ずもう大会」、「全校だるまさんが転んだ」です。楽しそうにやっていました。



とペロケット！



熱戦続出！



ハンディをもらって、低学年も上級生と勝負



止まっている時の体幹が大事です。